

Copyright(C)1997-2006 all rights reserved by Taikoh Yamaguchi

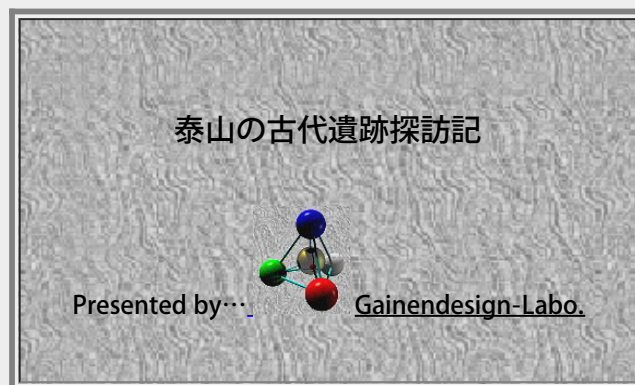
全ての画像には著作権があります。画像の無断使用をお断りいたします。

神巡りの軌跡…日本の美しき神社

Jinja(shrine) & sacred Rocks

出雲大社

izumo-taisha ; shimane



※[概念デザイン研究所FaceBook](#)

※[サイトオーナー泰山こと山口泰幸FaceBook](#)

※ご連絡用メール；taizan@gainendesign.com

※[概念デザイン研究所Fホームページ](#)

※[泰山の古代遺跡探訪記ホームページ](#)

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東195 電話 0853-53-3100

あまりに有名な出雲大社。大国主命をまつる。出雲大社はまさに神域である。空気が荘厳で重い。

出雲大社には奥宮ともいえる素鷲社があり、その周辺の杜の靈気がすぎまじい。大国主の背後に別の神が存在している証だ。その奥宮の裏手は崖と森で囲まれた禁足地になっている。この裏山の頂上付近にも必ず神聖な巨石があるはずだ。その裏山を八雲山という。小山ながら

美しいピラミッド形状を呈している。

出雲大社へは30年以上も前の1972年にも立ち寄ったことがあるが、その当時は有名な観光地を巡る程度の感覚しかなかったような気がする。大社町で食べた五色蕎麦が美味かったことと、大社の先にある日御碕が気になったのではあるがいけなかったことが強く印象に残っている。

1992年は二度目の参拝になるが、このときは明確に神の社としての出雲大社を訪れるという意識があった。

まごうかたなき荘厳な大社であり、境内の広さ、注連縄の巨大さ、摂社群の多さに圧倒された。

私の神社の参拝には珍しく、出雲大社は小雨に煙り、大社の背後の山々は霧のような低い雲に覆われていた。

出雲大社全体は神々が威厳を持って集う、神々の大行事の”場”のように感じる。どちらかといえば境内にいる間中不思議な緊張感にとらわれるのである。

大社の広大な境内の中に、本殿を中心にいくつかの摂社群が配置され、その神殿群を瑞垣が囲っている。瑞垣をぐるりと本殿の裏側に廻ったとき、瞬間空気が変化するのがわかる。

出雲大社の本殿裏側の瑞垣をさらに越えた北側、八雲山の麓にすこぶるつきの靈気漂う神殿がある。それがスサノウを祀る素鷲社（そがのやしろ）である。

ここの前に来たときに、初めて出雲大社に参詣しに来た意味が感得された。少なくとも私にとっての出雲大社の本質とはこの素鷲社と背後の山八雲山に存在する。

話は変わるが、複数の心霊的に感覚の鋭い人たちから、神霊のエネルギー体形状なるものを写真で見せてもらったことがある。それは形容すれば龍であり、蛇であり、紐である。

現代的に言えば、DNAの2重螺旋にも似ている。そして2重になった螺旋のエネルギー体からその螺旋方向にたいして垂直方向にほとばしるような放射型エネルギー束がいくつも出ていた。そのかたちがまさに出雲大社の大注連縄で表現されているのである。

古代の人々の多くが、そういう神霊的なエネルギー体様を直接見ていたのではないかと彼らと話したことがある。

またまた、話は変わって、出雲大社の主祭神のオオクニヌシノミコトであるが、この神様はあまりに有名であるのだが、少なくとも個人的にはオオクニヌシとの関わりはかなり希薄である。

何かその存在が”透明”のように感じられ、非常に遠い存在である。

むしろオオクニヌシノミコトの後である多紀理姫命＝三穗津姫命の方がぐっと存在感も親近感も増大する。多紀理姫命は出雲大社の摂社群の中で筑紫社（つくしのやしろ）に祀られている。

多紀理姫命はスサノウの御子であり、いずれにせよ、出雲大社へは『スサノウつながり』によって訪れたような気がしている。

参詣；1992年初春 記；2006年秋 泰山



出雲大社の西側にある神楽殿。3トンの巨大注連縄に圧倒される



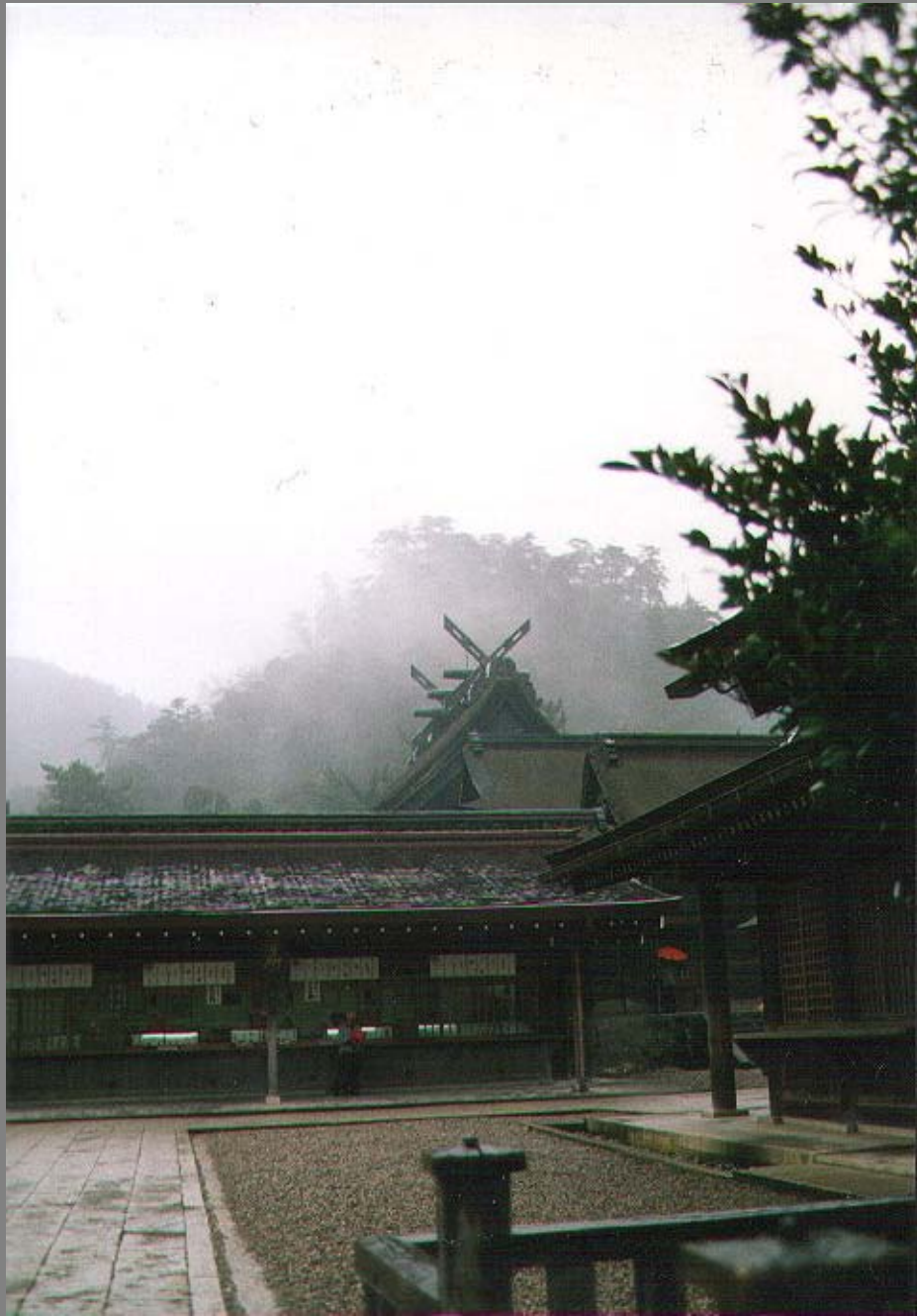
拝殿全景



楼門と本殿と御由緒書き 本殿周囲は玉垣で囲われている



大注連縄 螺旋と放射のエネルギー体様であるともいわれる



出雲大社本殿遠望 後ろの山が八雲山



拝殿入り口の大注連縄



瑞垣と境内摂社



重厚でいながら『かんさびた』日本の美を感じる出雲大社の全景



本殿の真後ろに密やかだが峻厳な佇まいの素鷲社（そがのやしろ）がある。
素鷲社はスサノウミコトを祀っている。素鷲社の裏手の小高い山が八雲山である。
八雲山頂上付近には磐座があるといわれているが、ここは禁足地で入れない。



素鷲社の背後は直ぐに急峻な八雲山の山肌があり、そこにも磐がある。



八雲山の鬱蒼とした森



出雲大社本殿裏側より；瑞垣に囲まれた社殿群 大社全体は荒垣で囲まれる

[泰山の古代遺跡探訪記topへ](#)